

いつか、日の丸を背負う日を目指して――

みやぎ ふうた
宮城 風太さん (25歳)

Profile

小林小学校、小林中学校、小林秀峰高校、中央大学を経て豊田合成ブルーファルコン名古屋に入団。今年で4年目を迎える。

手足の長さを生かしてゴールキーパーとして活躍している。

国内最高峰のハンドボールリーグ「リーグH」の強豪「豊田合成ブルーファルコン名古屋」でゴールキーパーとして活躍する若き守護神がいる。

それは、昨年行われた「日本ハンドボール選手権大会」で最優秀選手賞を獲得した宮城風太さんだ。

決勝戦は終盤までリードされる展開が続く中、流れを変えるために投入された宮城さん。チームを救う体を張ったキーピングを連発し、試合の流れを変えた。試合時間残り2分で同点に迫いつき、延長戦でついに逆転。見事、チームを5連覇に導いた。

宮城さんがハンドボールを始めたのは小学3年生。「ボールを投げるのが好きで、すぐにハンドボールの楽しさに引き付けられた」。その後も中学、高校と続け、中央大学に進学。大学4年時には日本一に輝き、

日本代表の合宿にも招集された。

そして、自信を持って実業団に挑戦。しかし、その道のりは平坦なものではなかった。

入団後すぐに、もうまくはく網膜剥離を発症し、1年目は1試合に出場したのみ。復帰に3カ月もかかり、精神的にもかなり落ち込んでいた。

そんな時支えになったのは、両親をはじめ地元で応援してくれる人たちの存在だった。

「今でも試合の応援に来てくれたり、帰省する度に温かく迎えてくれるのが原動力になっている」と笑顔で語ってくれる。

そんな宮城さんは今後の目標について聞くと

「宮崎を代表するハンドボール選手になって、日の丸を背負いたい」。

宮城さんの鉄壁の守備が日本のゴールを守る日が待ち遠しい。

令和6年の日本ハンドボール選手権大会で5連覇を達成し、MVPを獲得。「1年間で1人だけの賞なので、とてもうれしかった」と笑顔で振り返る

「コートプレイヤーはポジションを交代できるが、ゴールキーパーは誰でもはできない唯一無二のポジション」とゴールキーパーのやりがい話を話す



小林

こばやしびと
Vol.130